

自己資金検討ワーキンググループ（第1回）議事要旨（案）

1. 日 時：令和7年11月10日（月）16：30～18：00
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：三枝信子主査、戸谷圭子委員、高山弘太郎委員、関谷毅委員

4. 議事次第

- (1) 役員の選出等について
- (2) 自己資金検討ワーキンググループの検討事項について

5. 配布資料

- ・資料 1 自己資金検討WGの進め方策
- ・資料 2 自己資金検討WGにおける論点
- ・参考資料 1 自己資金検討WG委員名簿

6. 議事概要

- (1) 役員の選出等について
 - ・主査の互選を行い、三枝信子委員を選出した。
- (2) 自己資金検討ワーキンググループの検討事項について（主な意見）
 - ・自己資金獲得の方策として可能性があるものをまとめてなるべく具体的に提示することがWGとしての目標の一つ。
 - ・休刊している学術の動向の活用ができるのではないか。ジャーナルの発行は長期的な課題。
 - ・自己資金獲得について、まず広報の強化から始める必要がある。
 - ・マインドを変える良いきっかけである。日本学術会議の認知度向上の取組と合わせて、会員だけで活動を回すのではなく、会員以外にも仲間を増やすことが必要ではないか。
 - ・自己資金の獲得に当たっては、執行の観点も必要。
 - ・自己資金により、活動の更なる充実やURA等の人材の雇用ができる。
 - ・URA等の人材の雇用に当たっては、キャリア形成・人材の流動性の観点が必要。
 - ・三部制の強みをいかした分野融合的なプロジェクトの提案等については、外部のコンサルの活用が有用。また、マッチングの機会を設けることも有効。
 - ・今後、WGへオブザーバー参加いただくこととする。例えば、広報の観点、企業の観点での有識者・会員や、自己資金について知見・関心のある会員等。
 - ・予算と使途、関係する会計制度について整理した上で議論が行えるよう、次回提示することとなった。

以 上